



# 合い言葉は「地域愛」 魅力と活力にあふれた元気なまちづくり

出席者  
加藤 富美子さん  
大畑 健雄さん  
奈良 美沙季選手

入間川の岸辺を美しくする会「左岸」代表  
新狭山北口商店会「すかいロード祭り」実行委員長  
ちふれA S エルフエン埼玉

## 地域の資源を活かした狭山の魅力づくり

市長 明けましておめでとうござい  
ます。平成29年の新春をご家族おそ  
ろいで迎えのことと思います。  
狭山市も、「活力あるまち」を目  
指して29年のスタートを切りまし  
たが、その実現に向けては、一人  
でも多くの方に地域に対する誇りや  
愛着を持っていただくことが重要  
だと思っています。今、狭山市で  
は、地域づくり活動やスポーツな  
ど、さまざまな分野で多くの方が  
活躍され、その活動そのものが狭  
山市の魅力となっています。



大畑健雄さん

「今あるものは活かしていく。ない  
ものは創っていく」

なっています。私がほかのチーム  
に移籍しようと思わないのは、そ

## 活動のきっかけは人との出会い

市長 いろいろなご縁があったん  
です。活動を始められてからど  
んな工夫をされていますか。

大畑 狭山に来た当時、新狭山は、  
商店の後継者不足で店が減り、商  
店街に訪れる人も少なくなってい  
ました。正直「こんなに人が少ない  
場所です。商売になるの？」と思いま  
した。

郷里に戻ろうと思ったこともあ  
りましたが、何の縁もない私を支  
えてくれた商店会の人々の温かさ



河川敷での「曼珠沙華」の手入れの様子

に胸を打たれ、今では新狭山は第  
二の故郷ですよ。  
この恩に報いるために私がで  
きることは何かと考えたとき、人  
を集めることだと思って、「すか  
いロード祭り」に関わるようにな  
りました。初めは「他所者に何がで  
きるんだ」と思ったんじゃないで  
すか。でも多くの方の助けがあつ  
て、ボランティアにも企画段階か  
ら参加していただくなど「楽しん  
でもらえる商店街にしたい」とい  
う思いで、祭りを変えていきまし  
た。「他所者」だからこそ勝手に意  
見できてしまったのかもしれない  
が、「本気で商店街を盛り上げ  
たい」と思う人に響いてくれたと  
思っています。地域が活性化して  
きたことで、商店街には5店舗が  
出店してうれしく思っています。  
奈良 エルフエンは市内でサッ  
カー教室を開催し、小さいお子さ  
んから大人まで、幅広い年代の方  
と触れ合う機会を大切にしていま  
す。今季から、なでしこリーグ1部  
に復帰できたのも、地域の方々と  
の出会いから生まれる強い絆が  
大きな原動力になりました。サッ

る、狭山の魅力や可能性などを  
聞かせたいだけだと思います。  
まずは、皆さんの活動の紹介も  
含めて自己紹介をお願いします。  
加藤 東京で育ち、転勤が多かつ  
た夫の退職を機に、18年前に狭山  
市に移り住みました。

入間川の岸辺を美しくしようと  
思い、10年前に「入間川の岸辺を美  
しくする会『左岸』」という団体を  
作り、「笹井堰」から市民会館近く  
の「昭代橋」までの1千550メー  
トルの河川敷で、「花の道づくり」  
、「清掃活動」、「草刈り」、「外来種  
の除去」などに取り組んでいます。

大畑 実家のある富山県氷見市  
で消防士をしていましたが、ふと  
したことから都内の飲食店に転  
職し、新狭山の店を任されたのを  
きっかけに8年前に狭山市に來ま  
した。その後、独立し、現在二つの  
店舗のオーナーをしています。

そして2年前から、毎年10月に  
新狭山北口で開催している「すか  
いロード祭り」の実行委員長とし  
て、「三輪車レース」などの新しい  
企画を立ち上げたり、「阿波踊り」  
の参加団体を増やして開催期間を  
二日間にしたりとするなど、地域の  
皆さんと一緒に商店街を盛り上

カーも仕事も個人では成立しない  
ように、一人ひとりが全体を理解  
し、全体が一人ひとりのことを理  
解する、そんなチームワークの大  
切さを、市民の皆さんから毎日学  
ばせてもらっています。  
市長 狭山市は、なでしこリーグ  
1部のチームがある数少ない自治  
体の一つですからね。市民はトッ  
プアスリートが身近にいることに  
喜びを感じていますし、子ども達  
の目標にもなっています。

私は頑張っている人を見ると心  
援したくなりますし、何事にも本  
気で取り組んでいる人には、協力  
してくれる人が必ず現れるもので  
すよ。

加藤 私も多くの人に支えられ、  
今の活動が続いています。実は、ひ  
どい花粉症に悩まされていたので  
すが、その原因が河川敷に藪のよ  
うに生い茂っていた「オオブタク  
サ」だと分かり、10年前に私と夫  
さらに知人2人を加えた4名で除  
草を始めました。すると、藪の下か  
らは「曼珠沙華」が、芝の中からは  
「ネジバナ」が咲いてきたんです。  
もともと花が好きだったことも  
あって、これが活動を始めるきっ  
かけになりました。

その後、西武学園文理高校や西  
中学校の生徒さんなど、少しずつ  
協力してくれる仲間も増え、今で



「すかいロード祭り」での「三輪車レース」の様子



加藤富美子さん

「夢を持ち続け、困難があっても乗り  
越えて継続しようとする心が大事」

は河川敷に60万本もの「曼珠沙華」  
が咲くようになりました。

自分たちで清掃活動をした入  
間川がきれいになってくれれば、大  
人になっても、狭山市が自分の故  
郷であると思ってもらえるはず  
です。

市長 なるほど。小さな一歩も大  
きな輪になる。そこには熱い思い  
や優しさがあるんですね。活動を  
続けるのは大変で、困難なことも  
あると思いますが、続けていく上  
でモチベーションをどのよう  
に維持しているのでしょうか。

大畑 人と人とのつながりの中で、  
新たな魅力を発見したり、知らな  
かったことに気づかされたりす  
ることが、私のモチベーションに  
なっています。

商店会のメンバーは、本来はラ  
イバル関係にありますが、地域へ